



柳井 創世館 議会だより

第94号

平成31年4月

発行
編集

宮崎県椎葉村議会

議会だより編集委員会

〒883-1601

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字

下福良1762番地1

TEL (0982) 67-3209

村内無料電話 7-67-0091

3月定例会.....(2~3)

統括質疑・一般質問...(3~6)

議員活動報告...(6~7)

議会の動き.....(8)

講師の柳谷公民館長 豊重哲郎氏

鹿児島県鹿屋市

柳谷公民館(やねだん)にて研修会

3月定例会

平成31年度
一般会計当初予算

総額 **56億2,300万円**

(内容)

3月定例会は、3月7日から15日まで開会されました。平成31年度の一般会計と特別会計当初予算を連合審査会で審議し、本会議において可決しました。一般会計においては、前年度より10%の増額となりました。

会計別の予算状況

会計名	金額(千円)	増減率
一 般 会 計	5,623,000	10.0%
国民健康保険特別会計	363,933	△ 2.8%
簡易水道事業特別会計	58,832	△ 79.0%
国民健康保険病院事業特別会計	560,627	△ 9.6%
電気事業特別会計	135,005	0.0%
介護保険事業特別会計	400,097	△ 3.8%
後期高齢者医療特別会計	88,107	△ 0.4%
ケーブルネットワーク事業特別会計	69,666	4.5%

平成30年度 補正予算

会計名	補正額(千円)	補正後の予算額(千円)
一 般 会 計	699,187	6,438,431
国民健康保険特別会計	△ 587	387,758
簡易水道事業特別会計	△ 798	285,776
国民健康保険病院事業特別会計	△ 24,025	492,788
電気事業特別会計	△ 3,883	138,848
介護保険事業特別会計	△ 6,284	405,779
後期高齢者医療特別会計	481	87,478
ケーブルネットワーク事業特別会計	1,263	70,237

3月定例議会で決まったこと

●議案名

同意第 1号	椎葉村教育委員会教育長の任命につき同意を求めること(甲斐眞后氏が再任されました)
同意第 2号	東臼杵郡公平委員会委員の選任につき同意を求めること(椎葉村より松岡鍾氏が推薦されました)
議案第 6号	平成30年度椎葉村一般会計補正予算(第9号)
議案第 7号	平成30年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
議案第 8号	平成30年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
議案第 9号	平成30年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第4号)
議案第10号	平成30年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第4号)
議案第11号	平成30年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第4号)
議案第12号	平成30年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
議案第13号	平成30年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第4号)
議案第14号	平成31年度椎葉村一般会計当初予算
議案第15号	平成31年度椎葉村国民健康保険特別会計当初予算
議案第16号	平成31年度椎葉村簡易水道事業特別会計当初予算
議案第17号	平成31年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計当初予算
議案第18号	平成31年度椎葉村電気事業特別会計当初予算

議案第19号	平成31年度椎葉村介護保険特別会計当初予算
議案第20号	平成31年度椎葉村後期高齢者医療特別会計当初予算
議案第21号	平成31年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計当初予算
議案第22号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正する条例
議案第23号	椎葉村物産センターの指定管理者の指定
議案第24号	椎葉村製粉施設等の指定管理者の指定
議案第25号	椎葉村矢立高原キャンプ場の指定管理者の指定
議案第26号	椎葉村特別養護老人ホームの指定管理者の指定
議案第27号	椎葉村開発センターの指定管理者の指定
議案第28号	椎葉村観光施設設置条例の制定
議案第29号	椎葉村キャンプ場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第30号	農産物加工工場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第31号	椎葉村立学校設置条例の一部を改正する条例
議案第32号	椎葉村営住宅設置条例の一部を改正する条例
議案第33号	集会センター設置条例の一部を改正する条例
議案第34号	椎葉村立家庭的保育事業所等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第35号	椎葉村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例
議案第36号	村道路線の廃止
議案第37号	村道路線の認定
議案第38号	椎葉村水道事業給水条例の一部を改正する条例
議案第39号	椎葉村水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例
議案第40号	工事請負変更契約の締結(平成30年度宮崎県生活基盤施設耐震化事業本郷地区飲料水供給施設整備事業(1工区))
議案第41号	工事請負変更契約の締結平成30年度台風19号災林道間柏原～中山線1号箇所林道施設災害復旧工事)
議案第42号	椎葉村育苗施設設置及び管理に関する条例を廃止する条例
議案第43号	椎葉村農業用施設設置条例の制定
議案第44号	土地改良事業(浅敷地区農地耕作条件改善事業)の計画
議案第45号	椎葉村区設置条例の一部を改正する条例
議案第46号	平成30年度椎葉村一般会計補正予算(第10号)

総括質疑



那須重美 議員

問1 村民が抱えている課題等を考慮しての具体策については、課題に対して行政がどう向き合うか、どのようにとらえるかだと考える。今最も急がれる課題として、素材生産業いわゆる木材の搬出事業だと思われる。素材生産事業にとっては、いうまでもなく作業

班の不足、担い手の不足により支障をしたしている状態である。行政においても分収造林の期限超過林分の未処理など解決策の見えないところである。

本村の林業の中核でもある森林組合においても、作業班の不足、班員数の不足により素材生産事業の遅れが生じている現状のようである。

以前にも一般質問により答弁を求めたが、重要課題として認識している。検討して早急に対応するとの答弁で、木材産業にとっては大変期待のできる心強い答弁でもあった。

素材生産事業による材価については、買手市場であるため打開策は難しいところであるが、こういった要因が担い手不足に繋がっているのも否定できない。昭和30年代か

らの拡大造林推進によって植栽され、今や50年超となり伐期を迎えている。所有者にとっては、長年手入れし、守り続けてきた対価としての材価の保障、搬出業者にとっては、担い手確保を前提とした支援策が必要不可欠だと考える。

このような状況を踏まえ、搬出経費に対しある一定価格の材価を下回った場合の材価に対する経費への支援策の創設が必要ではないかと考える。広大な森林資源を有している本村にとって木材産業が更に活性化するよう願う。

是非、現場の状況を把握し、搬出事業者の声を反映されるようこのタイミングで木材産業にとって前向きに取り組む必要があると考えるが、村長の見解を伺う。

答1 林業立村を目指す本村としては、林業振興は避けて通れない重要施策である。

林業離れが多く本村にとって気になるところであるが、全国に先駆けて林業振興策として大変いい制度をつくり、造林、下刈り、間伐等々について単独の補助をしている。その影響で、国も県も補助をつけるようになった。

担い手不足が問題となっており、行政としても力を入れているところであるが、企業としても力を入れてほしい。

今年から林業大学が創設され、4月から開校する。奨学金など施策を講じてきたが、本村からの入学はない。来年度は入学してほしいと考えている。



椎葉信紘 議員

問 総体的に本年度の当初予算額を見ると、ほぼ例年並みの予算編成だが、一方自主財源が年々減少傾向にあり、この財源の確保には何らかの手立てが必要である。

地方の再生を謳った「地方創生事業」は、「まち・ひと・しごと」への道しるべである。いわゆる若い人を中心とした仕事の確保なり、子供の出生率、更にはそのことによって人口が定着をし増加するのが狙いであり、その成果を生み出す努力が必要である。

鑑みて、喫緊の推進施策として“人口減少対策”また密接不可分の関係にある“子育て支援対策”村民の貴重な生命財産を守る“地域防災”それらに関しての財源の確保が大事である。

人口の定着化を図るためには、若者の「雇用の場の確保」。即ち仕事の安定が不可欠であり、官民一体での林業再生への取り組み、更には世界農業遺産あるいは観光産業、IT産業を活用しての「6次産業化」に繋がっていく新たな産業の育成へと発展する施策が望まれる。

「子育て支援策」については、若者家族が共有できる住環境づくり、本村でも集合住宅での小さい子供達を持つ家庭の境遇を一緒にさせるのも面白い試みであり、お金では返られないメンタル面の雰囲気も大切である。

「地域防災」だが、地震、台風、それに伴うところの集中豪

雨、また、火災等々で全国各地で大規模な被害が相次いでおり、防災意識の向上が問われるが、とりわけ消防団員の減少化に伴っての更なる地域防災の充実化が要求されるところである。

先を見据えた「自主財源」の増収を図りながらの「健全財政」が求められる。今後、住民福祉の社会保障費等で財政が逼迫されることも予想され、限られた財源の中で村民の方々が安心して委ねられる「行財政運営」が望まれる。

本村の将来を見据えた視点からの村長の所見を伺いたい。

答 人口減少問題については、どのような策を講じたときに歯止めがかかるについては名案はない。やるべきことは、20年後、30年後の計画も必要であるが、今住んでいる人たちが、何を望んでいるかを把握しながら施策を講じることが歯止めになると考える。

防災関係については所信表明でも話をしている。

地区計画もそれぞれの地区で計画を立てている。それが実現できるよう行政として支援していくことが地域の活性化にもつながっていく。更には人口減少の歯止めにもつながっていくのではと考えている。

財政の問題もある。自主財源を増やして、依存財源を減らすのが理想であるが、自主財源を増やすことは非常に厳しい。国・県の補助制度をうまく利用することや新たな補助制度を作ってもらおう努力もするよう職員にも話をしている。



那須 清 議員

問1 本村は土砂災害防止法令に基づく土砂災害警戒区域・特別区域(イエローゾーン)に居住地及び公の施設が点在し、安心安全が危惧されている。近年の地震・局地豪雨・台風等の自然災害が著しく、山地災害の未然防止のため、国・県の国土強靱化予算

や森林経営計画を活用し、樹木の除去・植栽基準の見直し検討を加え、山地災害の未然防止に取り組むべきでは。

答1 防災面については、村民の安心安全を守るために、消防団の協力が必要であり、処遇改善も行っていく。

危険区域については、県の方からも指定するよういわれているが、指定してしまうと村全体が、イエローかレッドゾーンになってしまう。村としては今のところ指定は考えていないが、いずれは指定しないといけなくなってくることも予想される。

避難所については、避難所に避難するよりも自宅にいた方が安全なところもある。その判断は各地区の区長、組合長、部長にお願いしたい。危険箇所調査も毎年協力をいただき実施している。

問2 世帯数及び人口減少・大規模償却固定資産の償却等もあり、近年自主財源である村税の減少が懸念される。健全な行財政運営の上でも自主財源比率を高めるこ

とが不可欠であり、財源の確保の上からも、一例として、椎葉牛等返礼品の開拓をし、ふるさと納税のPRに取り組むことは、産業振興に寄与し効果・好循環に繋がると考えるが、取り組みの考えは。

答2 自主財源については、いかに増やしていくか努力をしている。ふるさと納税もその一つであり、椎葉牛として返礼品として使えないか担当課に話している。皆さんからもいい発想があれば示唆していただきたい。

問3 情報発信システムの構築について、村内向けの情報提供については、データ放送等かなり改善されている。反面、村外向けのホームページ等の中身を精査すると、リニューアル作業の遅れが目立ち、イベント情報、商工観光情報を含め椎葉の魅力を発信することは、関係人口を増やし、村の活性化にも繋がり、ふるさと納税等も期待できるのでは。

今回新しく地域おこし協力隊・テレワーク事業拠点施設が整備されることもあり、連携して好循環を創出する発信システムに取り組んだらどうか。

答3 情報システムの構築については、議員言われるとおりである。外に向けてのホームページの構築が若干遅れていることから、村外の方々にPRできるような施設の構築を行うよう努力していく。



河口吉弘 議員

問1 皇位継承に伴う10連休対策について、今年のゴールデンウィークは4月27日(土)から5月6日(月)までの10連休。昭和23年の祝日法施行後で最長となる。①事故、災害、急患等、緊急事態への対応 ②保護者の仕事による保育所の対応 ③介護サービス提供体制の把握と周知と事業者との連携 ④観光客に対するサービス確保対策の周知 ⑤郵便局、農協等の金融機関の営業日に関する周知 ⑥Aコープやガソリンスタンド等の営業状況の周知など、10連休対策の周知が必要ではないか。

答1 大型連休の10日間については、事務改善委員会において、各所の状況をまとめるよう依頼しており、その結果を周知したい。

問2 脳ドック受診の推進と助成について、平成30年度「介護が必要になった主な原因疾患の構成割合」によると、対象者241人のうち17.85%、43人が脳血管疾患脳卒中(くも膜下出血、脳梗塞、脳出血)が原因。また、原因疾患割合が高いのは認知症、認知症の原因も脳血管性やアルツハイマーによる脳機能障害を原因としている。

脳血管疾患の早期発見と予防のため、脳ドック検診に対

する助成制度を新設し、村民の命と健康を守るためのリスク緩和に取り組んでいただきたい。

答2 健康管理については、村病院をかかりつけ病院として利用していただくことにより、個人の状況を把握できることから、急病にも即座に対応できる部分がある。現在直診率が50%に達していない状況であるので、かかりつけ病院とすることがいかに重要であるかを村民に周知したい。

問3 職員の働き方改革について、県の市町村課の平成29年地方給与実態調査結果によると、平成29年の宮崎県17町村の平均ラスパイレス指数は96.2、椎葉村は92.2で西米良村について16番目となっている。

村職員のラスパイレス指数が県内17町村中16番目という、その原因及び実態をどう理解しているのか。

職員は執行機関の長である村長の指揮監督を受けて事務事業を遂行する補助機関、平成29年度歳出決算額は、西米良村が28億5300万円、諸塚村が34億9000万円、椎葉村は52億1300万円となっている。改善を図るべきではないか。

答3 職員の給与の問題については、現在見直しを行っており、職員が働きやすい環境づくりに努めたい。



椎葉大和 議員

問 水源の確保において、村では小規模水道施設の設置にも力を入れているが、水の確保は重要である。水の確保について、ブナの木の新植を考えたかどうかと考えるが見解を。

答 水資源について、本村には3大河川の源流があることから、山を育てるなど努力をしていることなどいろいろなところで話をしている。ブナ林の重要性は認識しているので、植栽地があれば考えていきたい。

村長に聞く!

～ 一般質問 ～



岡村正司 議員

質問

大規模災害時における避難支援と避難所の運営について

問1

近年、大規模な大雨災害が発生している現状を考えると、一定の期間を避難所で生活することも考えられる。そこで発生時の避難所運営の流れ、避難所内の方針やルールについて本村ではどのようになっているのか伺う。

実際の避難所生活の中で、特に高齢者の方や障害のある方、女性への配慮は欠かすことはできないと思うことからどのような対策が行われるのか伺う。

答1 村内で55箇所を避難所指定しているが、地区災害対策本部となる各地区役員や消防団を中心をお願いしている。特に災害発生後の3日間は、自助・共助による運営をお願いしている。長期避難に至る場合は、村災害対策本部が業務を引き継ぎバックアップを行うこととなる。

また、避難所における高齢者等要配慮者への対応については、避難生活が長期化する場合等は、広域避難や高齢者福祉施設や公的施設も含めた福祉避難所の設置など総合的な対応が必要である。

大規模災害時には、自助・共助の考えが最も重要であるとともに、有事に備え日頃から地域の自主避難の方法、避難行動要支援者等の把握を行うことが被害の抑制に繋がると考える。

問2

避難場所へ受入れしてからの運営に関して、運営責任予定者の研修や、避難所の運営訓練も重視されることだと考える。今後の訓練の実施についての見解を伺う。

答2

区長、組合長、消防部長を中心にやってもらっているが、その他に役場職員も地域において調査を行っている。日頃からマニュアルをしっかり把握することが必要であり、研修も行っていく。中山間地域であることから、避難所に行くよりも自宅にとどまった方が安全な場合もある。そういったことも含め日頃から連携しながら訓練する機会を多く設けていきたい。





質問 平成31年度の予算編成について

問1 平成31年度予算編成にあたって、危機的状況にある神楽や民俗芸能等の保存継承活動に対する支援策の充実に、ふるさと納税を特定財源として予算編成を行い、長期的に支援策を講じていかなければ、神楽そのものが無くなると危惧する。

河口吉弘 議員

民俗芸能や伝統的焼畑農法は世界農業遺産認定や「日本で最も美しい村連合」加盟の重要な要素。多くの人に現状を訴え、納税者の善意を活用できるような取り組みが必要であると思うが村長の答弁を。

答1 ふるさと納税制度は、寄付者が返礼品を選択すると同時に、寄付金の使い方を5つの分野から選択できる仕組みとなっている。民俗芸能や伝統文化等の保存継承を含めた本村の重要課題は、ふるさと納税に依存することなく予算計上しているが、ふるさと納税は貴重な財源の一つであると認識している。

近年では、ふるさと納税クラウドファンディングを活用する自治体も増えており、現在検討している。引き続き本村の魅力発信と返礼品の拡充に取り組み、問題解決に向けた事業に活用できるよう取り組みたい。

問2 国は10月から幼児教育・保育の無償化への対応策として、0歳から5歳までの子どもについて幼稚園、保育園等の費用を無償化としている。

ただ、0歳から2歳児までの保育料無償化については、

なぜか住民税非課税世帯としていることに対して理解ができない。0歳から2歳児を持つ世帯は共働き世帯も多く、住民税非課税要件に該当することは難しい、村独自の制度を設け、無償化を図るべきではないか。

答2 3歳未満の住民税非課税世帯の児童のみを対象とする背景や無償化に向けての具体的な工程等についてはまだ示されていない。今後の国の法令や通知等により制度の内容を詳細に把握した上で、対象となる保護者の状況等も勘案しながら本村の支援策について検討したい。

問3 現在、80歳以上の高齢者に対して、敬老の日には3000円の商品券を贈り、「末永い健康の維持と生活の継続に支援を行っている」としている。これまで高齢者が果たしてきた役割に対して、十分気持ちを尽くしているとは思えない。改元を機に金額の引き上げ、支給年齢の引き下げなど検討をすべきではないか、

答3 80歳以上の方に対するお祝いについては、平成27年度に引き上げを行って数年であることや、本村では現役で活躍されている高齢者も多く見受けられることから、現在のままの形でお祝いを続けたい。



議員活動報告

三村議会協議会 1月24日

報告者：那須重美総務文教常任委員長

県内の村、椎葉村、西米良村、諸塚村の三村における議会協議会が諸塚村役場において開催された。

総会では、協議会として継続の審議も行われ、活動内容の検討が行われた。村として共通の課題があることから、協議を行い県に要望するなど活動を進めていく旨の話し合いとなり、三村議会として継続すべきとの意見で閉会した。

また、日興川和志氏による「椎茸を中心とする複合経営に学ぶ」と題して、古民家よしやにおいて講話も行われた。



右奥が日興川氏

日向東臼杵郡町村議会研修会 1月28日

報告者：岡村正司副議長

今年度、2回目となる研修会が日向市で開催された。今回は北海道芽室町の議会議長と事務局長を講師として迎え「芽室町議会が進める議会改革」を演題として講演がおこなわれた。内容としては【住民に開かれ、分かりやすく、行動する議会】を目指して、議会の改革・活性化策を取り上げその取り組みについて、また今後の展望と課題についての講演であった。

今回の研修で、本村議会でもなぜ議会改革が必要なのかを議員間で討議し、議員力、議会力の資質向上に努め、議会のやるべきことを認識し、住民の福祉向上をいかに達成するかを考え、村民に信頼される議会であるよう取り組みが必要であると感じた。



講師の広瀬議長

時局講演会 1月30日

報告者：那須重美総務文教常任委員長

高原町総合保健福祉センターにおいて、ノンフィクション作家の小松成美氏による”逃げないプロの生き方”と題して講演があった。

プロスポーツ選手から、政界、プロ野球のあらゆる監督、俳優など幅広い分野でのインタビューにより、著書が出版されている。自分自身の経験を交えながら幅広い人脈を築いてきている。特にプロスポーツ選手等での講話では、断られても何度も交渉して誠意を感じてもらい、話を聞く態度には脱帽であった。プロとしての生き方を聞くことで、その情熱を交え、視聴者に感動を与えたと感じる。諦めない精神と目標に向かっての生き様を熱意を持って語る姿には講演を聴いて、やる気、勇気、元気を与える内容であった。



大日止昂小水力発電所視察 2月19日

報告者：椎葉芳一産業福祉常任委員長

日之影町の大日止昂小水力発電施設の活用状況や施設の説明を受け現地視察を行った。

大正6年に大人耕地整理組合が設立され、用水路10Kmの開削や開田工事がなされた。平成28年に、組合員53名で大人発電農業協同組合が設立され、最大出力49.9kwで、年間売り上げは、約1,100万円、発電された電力は、(株)新出光に販売されているとのことであった。



北部森林管理署要望活動 2月20日

報告者：椎葉芳一産業福祉常任委員長

尾向公民館と合同で九州森林管理局宮崎北部森林管理署に対して、要望活動を行った。

要望内容は、下流域の住民が安全・安心に生活が送れるように、国有林内の治山事業の推進と森林整備を中心とした、災害に強い山づくりに積極的に取り組んでいただくよう要望を行った。



村道認定調査 2月25日

報告者：椎葉芳一産業福祉常任委員長

村道認定予定箇所の現地調査を実施した。路線は、尾向地区寺床の高砂線、上椎葉地区夜狩内の鶴下線、下椎葉の下椎葉下線、桑の木原の桑の木原高橋線、小崎地区竹の枝尾日添の小向線、大河内地区矢立の中州線の新規6路線の現地調査を行い建設課より説明を受けた。調査の結果、認定は適当であるとの意見で一致した。



村議会政務調査 3月19~20日

報告者：那須重美総務文教常任委員長

鹿児島県鹿屋市の柳谷公民館(やねだん)の公民館長豊重哲郎氏の案内により施設の見学と研修を行った。

行政にたよらない感動の地域づくりとして、自主財源確保によって地域再生創出を展開している。地区による活動が主で、自主財源として、オリジナル焼酎、土着菌堆肥、唐辛子栽培など地区再生を成している。活動による余剰金が出れば、柳谷住民にボーナスとして1万円の支給等を行っているとのことであった。活動する内容がすべて住民のためとあって、遊園施設、サツマイモ栽培、土着菌製造、焼酎やねだん製造、韓国向けの唐辛子栽培、柳谷高校生クラブ結成、メッセージ放送、子供達手作り看板、子供達による寺子屋、介護・防災活動として、緊急警報装置、シルバーカートの貸与、健康遊具の設置、空き家利用による通称迎賓館の施設建設、高齢者向けのころばん体操など生活に密着した活動を展開している。

中でも豊重氏によるやねだん故郷創生塾の開校して12年目となり、年2回開校し、遠くは北海道から参加している。本村からの参加もいいのではないかと感じたところであった。



土着菌製造の現場視察

議会の動き

1月	24日	三村議会協議会	諸塚村
	24~25日	例月監査	監査室
	28日	日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会研修会	日向市
	29日	日向東臼杵広域連合議会運営委員会	日向市
	30日	時局講演会	高原町
2月		第1回議会運営委員会	委員会室
		第1回全員協議会	委員会室
	5日	第1回村議会臨時会	議場
		第5回平寿園跡地活用調査検討特別委員会	委員会室
		県町村監査委員協議会定期総会	宮崎市
	14日	入郷地区衛生組合議会	美郷町
		日向東臼杵広域連合2月議会	日向市
	15日	光ファイバーネットワーク運営委員会・放送番組審議会	役場会議室
	17日	村生涯学習フェスティバル	開発センター
	19日	産業福祉常任委員会特定事務調査	日之影町
	20日	北部森林管理署要望活動	日向市
		県町村議長会定期総会・研修会	宮崎市
	25日	産業福祉常任委員会村道認定調査	村内
	25~26日	例月監査	監査室
		村園芸部会定例総会	開発センター
		第1回議会運営委員会	委員会室
		第2回全員協議会	委員会室
	26日	第6回地域医療を守る調査検討特別委員会	委員会室
		第1回総務文教常任委員会	委員会室
		第1回産業福祉常任委員会	委員会室

3月	4日	村社会福祉協議会理事会	すこやか館
	7~15日	村議会3月定例会	議場
	13日	小中学校教職員教育研究論文表彰式	役場会議室
	15日	第1回議会広報広聴特別委員会	委員会室
	16日	椎葉中学校卒業式	椎葉中学校
	19~20日	村議会政務調査	鹿屋市、熊本市他
	22日	椎葉村総合戦略会議	役場会議室
	24日	日向市新庁舎建設事業竣工式	日向市
	25日	村内小学校卒業式	村内小学校
	25~26日	例月監査	監査室
4月	26日	村障がい者福祉施策推進協議会	すこやか館
	27日	県北部広域行政事務組合議会	日向市
	28日	西米良村役場新庁舎落成式	西米良村
		村林政審議会	役場会議室
	29日	村和牛改良組合総会・畜魂祭	家畜管理センター
		東臼杵郡議長会定期総会	日向市
	1日	村職員辞令交付式	役場会議室
4月	4日	椎茸部会総会及び椎茸品評会	開発センター
	9日	椎葉中学校入学式	椎葉中学校
	11日	村内小学校入学式	各小学校

編集後記

3月定例会議会だよりの編集後記をしたためている現在は卒業式シーズン。頂もうつらと雪に覆われ、満開の桜も花冷えにちじこもって見えるのもこの時期の風情。村民の皆様はこの議会だよりが届く頃には、選ばれし議員10人の顔ぶれが決まっていることと思います。少子・高齢化、人口減少に歯止めがかからない現状に終止符を打つためには、村民総力戦以外にありません、選ばれた人も選んだ人もその責任を自覚しなければならぬと切に思います。

文責：河口吉弘



椎葉村議会 テレビ生中継

6月定例会は6月6日開会予定となっています。

お問い合わせは議会事務局まで
(TEL 0982-67-3209)

是非傍聴にお越しく下さい。

議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。